

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 中根生弥
 編集人 武山純也

No.446 目次

- ◆愛臨技西三河地区研修会に参加して…… (2)
- ◆平成30年度
愛知県臨床検査精度管理調査報告会に参加して…… (3)
- ◆愛知県臨床検査精度管理調査報告会
および特別講演会に参加して…… (3)
- ◆医療法等の一部改正に伴う
よろず相談会を開催して…… (4)
- ◆医療法等の一部改正に伴う
よろずセミナー 2019のお知らせ…… (4)
- ◆2019年度
公益社団法人愛知県臨床検査技師会
祝賀会・懇親会のご案内…… (5)
- ◆基礎講座・研究会…… (6)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信 (第59回) …… (8)

「2019年度定時総会」の開催について

庶務部長 夏目 久美子

来たる2019年6月16日(日)午前10時よりTKP名駅桜通口カンファレンスセンター ホール3Eにおきまして、公益社団法人愛知県臨床検査技師会2019年度定時総会を開催いたします。

本総会は2018年度事業・決算報告についてご審議をいただき、2019年度の事業計画・事業予算を報告させていただき総会となります。2018年度は役員の変更が行われ、中根会長のもと新体制での事業活動を行ってまいりました。

2018年度の主な事業をご紹介します。精度の高い臨床検査を提供するための専門的知識・技能の普及や人材の育成を行う事業では、大橋功男学会長のもと、第18回愛知県医学検査学会(尾張北地区)を開催しました。また、新人サポート研修会、スキルアップセミナー、臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会Bに加え、多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会を3年企画の初年度として開催しました。また、学術部研究班による研究会・講演会・基礎講座や、地区活動での研修会・勉強会を行い、臨床検査技師の資質向上に寄与してまいりました。組織部企画では、管理運営研修会や、日臨技との連携においてニューリーダー育成講習会、初級・職能開発講習会を開催しました。精度管理事業ではサンプルサーベイ、フォトサーベイを実施し、その後結果検討会と報告会を開催して精度向上のサポートを行いました。会員の皆様には新入職員向けのフレッシュセミナー、New Year パーティーを、県民の皆様に向けては健康増進と衛生思想に関する普及啓発事業として、HIV抗体検査ボランティア、世界禁煙デー街頭啓発キャンペーン、春日井市健康救急フェスティバル、全国「検査と健康展」に参画しました。2018年度も多くの事業に多くのご参加をいただき滞りなく遂行することができました。これもひとえに会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝しております。また、これらの事業を行う中で監査法人による二度目の公益法人監査を受け、当会が公益法人として適正な事業遂行が実施されているとお認めいただくことができました。

2019年度も主たる事業は例年同様開催いたします。医療人としての人材育成にも注力し、会員一人ひとりに支援ができるような事業を展開してまいります。ご多忙とは存じますが、多数の会員の皆様のご意見を賜りますよう、ぜひとも定時総会へのご出席をお願い申し上げます。

愛臨技西三河地区研修会に参加して

平成31年2月23日に開催された西三河地区研修会に参加しました。今回のテーマは、「医療事故について考えよう」でした。初めに、西知多総合病院の吉本尚子先生に、「医療事故の実例から学ぶ」、次に西尾市民病院、医療安全管理室室長の高須照美先生に「管理者からみたインシデント対策」と題して講演していただきました。今回の講演を通して学んだことは、医療事故が起きてしまったからの信頼回復がいかに大変であるか、また、どのような対策をして医療事故を未然に防ぐかということです。

まず、吉本先生の講演では、実際に起きてしまった医療事故の実例をもとに事故発生の報告から原因の推定、対外対応の流れを教えてくださいました。様々な対策がされていても、1つ1つの小さなミスが重なってしまうと重大な医療事故に繋がると改めて実感しました。事故後には多額の費用をかけ、再発防止、信頼回復のための対策が講じられましたが、施設ごとにできる対策、防止策は限られると思いま

西尾市民病院 神谷 大貴

す。しかし、インシデントで留め、事故に繋がる前に対策をすることが大切だと改めて思いました。

次に、高須先生の講演では、医療安全管理者からの視点でインシデント対策に関して教えていただきました。現場視点ではなく、管理者側の視点からの講演は非常に興味深いものでした。インシデントがあった際に、報告をして終わり、ではなくその後の対策を考え、それを継続して行うこと、対策がただの作業になっていないことが大切だと思います。また、インシデントの要因となる知識・技術不足など、自身で改善できる点を考え、自分の身は自分で守ることが大切であると思います。

各講演後の質疑応答の時間では、多くの方が質問されていて、関心の高さを感じました。普段はなかなか聞くことのできない非常に貴重な講演を聞くことができたと思います。今回の研修会で学んだことを念頭に置き、日々の業務にあたりたいと思います。



平成30年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会に参加して

平成31年3月10日、名古屋第一赤十字病院にて平成30年度愛知県精度管理調査報告会が開催されましたので内容について報告いたします。

会に先立ち、各部門から試料の種類、画像問題の意義・目的、回答の集計結果と評価方法について簡単に説明がありました。検体検査部門では試料検体の搬送における管理（サーモトレカ）について、臨床化学部門では、各参加施設において使用機器や試薬による報告値の評価について説明があり、報告値は概ね収束してきており精度管理事業の功績の大きさについて話がありました。また、より上位でのトレーサビリティを担保するために多くの施設がメーカー由来の標準物質を使用し精度が維持されていることを再認識しました。

免疫血清部門では、C,D評価となった施設は原因の究明後、二次サーベイを実施し、改善の確認を行ったとの報告があり、施設間差をなくす対策が継続して行われていることに精度管理事業の意義を感じました。

輸血検査部門では新たな活動内容として調査項目

名古屋医療センター 久野 欽子
を増やすなど、適正な輸血検査が行われるための技術や結果の評価をすすめ、それが精度管理調査として参加施設に還元されているのだと実感しました。

血液検査・微生物検査・病理検査などフォトサーベイを実施した部門は誤解答の多い設問を中心に判断の解説がありました。時間の関係上、詳細な説明は難しいため、簡潔な報告のみでポイントを押さえた内容となっていました。やはり、詳細を把握するには部門の精度管理報告会への参加が必要と感じました。

今回、各部門の報告会に参加することで、各分野の精度管理の方法や集計がどのように行われるかを知ることができました。

法改正にも現れているように精度管理の重要性が注目されており、こうした調査に参加することは、安定した精度を維持するために重要です。参加後、この結果をどのように活用していくかが検査結果の質の向上に重要となり、今回の報告会や部門での精度管理調査報告会の内容を日々の業務の中で活用していけたらと思います。

愛知県臨床検査精度管理調査報告会 および特別講演会に参加して

2019年3月10日に開催された愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会に参加させていただきました。特別講演会のテーマは「医療法の一部改正と必要になる各種書類整備について」でした。

自施設でも法改正によって、どこまでの内容の書類が必要なのか、今現在ある書類で十分なのか悩んでおりましたが、特別講演会では一つ一つ具体例をあげて丁寧に教えていただきました。

また、精度管理責任者は何をしなければならないのか、心構えについても教えていただきました。私は普段検体検査を担当しておりますが、精度管理責

碧南市民病院 中央検査室 平松 和樹
任者は検体検査分野だけを整備するのではなく、病理検査、細菌検査、生理検査などあらゆる分野の精度管理を整備するために、全分野の知識の研鑽に努めなければならないと改めて感じました。さらに検査室内だけでなく、病棟、手術室、外来の検査の整備まで検査精度管理として行っていくべきであると教えていただきました。今後は、e-ラーニングの受講を完了することから始めていきたいと考えています。

今回の講演で学んだことを自施設に持ち帰り、より良い医療のために役立てたいと思います。

医療法等の一部改正に伴うよろず相談会を開催して

標準化担当理事 愛知医科大学病院 佐野 俊一

平成31年3月10日(日)13時から、愛知県臨床検査精度管理調査報告会の隣接会場にて、概ね200床以下の医療施設に従事する臨床検査技師及び医療関係者を対象に“よろず相談会”を開催しました。当日はあいにくの天候にもかかわらず、23施設25人と予想以上の参加があり、資料が不足するほどでした。



相談会は参加者と中根会長、岡田副会長との対話形式で終始アットホームな雰囲気が進み、多くの質問・疑問をいただきました。また次回までの宿題(3題も)が出されましたが、相談会終了時は参加者の表情がかなり緩み、意気込みさえ感じました。今後は今回いただいた情報を基に参加者のご施設が最低限、検体検査業務の精度確保のために設けるべき基準をクリアできるように、本相談会をセミナー形式でシリーズ開催していきます。

クリニック、小規模施設の皆様、一緒に頑張りましょう!

問合せ先: aiccls.aamt@gmail.com

医療法等の一部改正に伴うよろずセミナー 2019のお知らせ

【基礎教科: 各回20点】

日時: 第1回 5月26日(日)13時30分~15時30分(13時~受付開始)
第2回 6月30日(日)13時~15時
第3回 7月28日(日)13時~15時

場所: 第1回 名古屋市立大学医学部医学研究科・医学部研究棟11階 講義室B
第2・3回 名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟B 6階会議室2

会費: 1500円(会場・用紙代等3回分一括、途中で払い戻しはいたしません。)

内容: 検体検査業務の精度確保のために設けるべき基準を最低限クリアするために、初級者向けの内容で以下の作業書・台帳を作成していきます。

第1回 測定標準作業書、検査機器保守管理標準作業書

第2回 測定作業日誌・検査機器保守管理作業日誌、試薬管理台帳

第3回 統計学的精度管理台帳、外部精度管理台帳

募集人数: 40名程度(申込先着順、多数の場合はよろず相談会出席者優先、施設から1名とお願いする可能性があります。なお申込多数の場合は、9月以降に継続的開催も検討します。)

対象: 200床以下の医療施設に従事する臨床検査技師及び医療関係者

担当者: 愛臨技・学術部門員、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師

申込方法: メールにて申込みをしてください。3日以内に受講番号を通知します。

(電話、FAX等の受付はできませんのでご了承ください。)

締切: 2019年5月20日(定員になり次第締切ります。)

申込先: aiccls.aamt@gmail.com

備考: 5月から8月迄、参加者と担当者をメーリンググループに登録し、意見交換の場を提供いたしますのでご活用ください。

主催: 愛知県臨床検査標準化協議会(AiCCLS)

共催: 公益社団法人愛知県臨床検査技師会

2019年度 公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 祝賀会・懇親会のご案内

「祝賀会・懇親会」を第19回愛知県医学検査学会の当日、下記の要領にて開催いたします。

祝賀として、愛臨技が表彰する学術奨励賞および永年職務精励者表彰の皆様を盛大に祝福したいと思えます。

また、会員・賛助会員相互の親睦を深め、絆を強める場としても大いに盛り上げたいと考えております。素敵なお土産が当たるかも… 是非とも多数のご参加をお待ちしています！

なお、参加の申し込みは6月14日(金)までに愛臨技事務所までFAXにてお知らせ下さい。申込FAX用紙を添付しますのでご利用ください。

記

日 時：2019年7月7日(日) 17時00分～19時00分
会 場：サンプラザシーズンズ 1F レストラン アジアナ
会 費：5,000円(当日、受付にて徴収させていただきます)
締 切：2019年6月14日(金) (FAXにてお申込みください)

公益財団法人愛知県臨床検査技師会 宛
FAX番号 (052) 586-5680 aamt@aichi-amt.or.jp
【2019年度 愛臨技 祝賀会・懇親会 申込書】

	施設名：	申込責任者：	TEL： FAX：
No	会員番号（登録者のみ）	参加者名	
1			
2			
3			
4			
5			

基礎講座

輸血検査研究班

専門教科：20点

日時：【基本コース】2019年7月13日(土)
14：00～18：00

【応用コース】2019年7月14日(日)
9：00～16：00

場所：名古屋市立大学医学部 基礎研究棟
4階 微生物実習室

テーマ：「知っている”を”できる”に変える！輸血検査のテクニク」

講師：輸血検査研究班班員

内容：実技講習会

【基本コース】

基本操作・血液型検査・交差適合試験（生理食塩液法）

【応用コース】

仮想症例を基に、血液型検査・不規則抗体検査・亜型検査・分子標的薬使用患者への対応など、知識として“知っている”ことを実技講習で経験し、日常業務で“できる”を目指します。

定員：【基本コース】30名

【応用コース】45名

参加費：【基本コース】2,500円

【応用コース】8,000円

対象者：【基本コース】

輸血検査に携わって間もない方・基本操作の再確認・日当直のみ輸血検査を実施している方

【応用コース】

輸血検査のスキル向上を目指す方・施設で輸血検査を指導する立場の方

申込方法：下記申込事項について、E-mailでお申し込み下さい。申し込み後1週間以内に受領メールが届かなかつた際は連絡先までお問合わせ下さい。

携帯メールからの応募はできません。

アドレス：2019aichiyuketsu@gmail.com

申込事項：①コース名 ②会員番号 ③氏名

④かな氏名 ⑤施設名 ⑥所属

⑦施設住所 ⑧TEL（内線）

⑨輸血検査経験年数

⑩輸血業務頻度（例、毎日・週3日程度・

日当直のみ等）

以下、応用コースのみ

⑪分子標的薬使用患者への対応経験の有無 ⑫実技レベルを教えてください。1. 指導技師の指導を受ければできる。2. 手順書を見れば一人でできる。3. 手際よくできる。4. 指導ができる。

連絡先：愛知医科大学病院 輸血部

片井 明子

TEL 0561-62-3311（内36212）

申込開始：2019年5月1日(水)

申込期限：2019年5月31日(金)

注意事項：1メールにつき1名の申し込みとし、複数名の申し込みは受付できませんのでご注意ください。定員になり次第締め切ります。締め切りの状況はHPにてお知らせします。受講料の納入方法については受領メールにてお知らせします。応用コースの昼食については、受領後に改めて連絡いたします。両コース共に受講料納入確認後、受講案内をメールにてお知らせします。受講案内メールが届かない場合は連絡先までお問合せ下さい。



研究会

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年6月8日(土) 15:00～17:00

場所：だいでうクリニック5階講堂

テーマ：新しい一般検査領域における

自動化・精度管理・業務の効率化の試み

- 講師：1. 永久寄生虫卵標本作製の試み
岡崎市保健所 佐藤 千歳
2. 全自動尿中有形成分分析装置UF-5000の検討
JCHO中京病院 矢井 友紀
3. 潜血陽性と異型細胞の出現頻度から算出した尿沈渣目視条件の検証
藤田医科大学病院 林 和佳奈
4. 赤血球封入標本を用いた目合わせの試み
藤田医科大学病院 櫻井 昌代
5. 当院における尿沈渣内部精度管理の取り組み
JA愛知厚生連 江南厚生病院
杉浦 里佳
6. 『検査データ管理システムのトータル提案により、一般検査の効率化を実現する方法』
アークレイマーケティング株式会社
学術推進チーム 多田 昌代
- 司会：愛知医科大学病院 山口 京子
特定医療法人衆済会 増子記念病院
平田 弘美

内容：一般検査領域における自動化や検査精度管理・業務の効率化について、昨年度学会等で発表された演題をもう一度聴講する機会を設けました。また、最新の管理システムによる一般検査の効率化について講演頂き、機器更新や内部精度管理の取り組みなどに役立てて頂きたいと思えます。皆様の参加をお待ちしております。

研究会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年6月15日(土) 15:00～17:00

場所：リップルスクエア

名古屋市東区桜1-1-10アーバンネット名古屋ビル20F

久屋大通（地下鉄名城線）出口3B

テーマ：ISO15189、JCI認証について知ろう！！

講演1：ISO15189取得施設における、病理検査の品質・運用管理

刈谷豊田総合病院 林 直樹

講演2：当院病理部におけるJCI認証取得への取り組み

名古屋大学医学部附属病院 佐藤 浩司

講演3：ISO15189について

(株) エスアールエル 顧客サービス課

松本登貴夫

司会：名古屋第二赤十字病院 長田 裕之

内容：ISO15189の講演では、基本的な内容から認定取得施設の品質・精度管理方法や維持活動等の現状について解説していただきます。

また、最近よく耳にするJCI認証の講演では、国立大学病院で初めて認証を取得した取り組みを解説していただきます。ISO15189やJCIの認定取得を目指す施設だけでなく、認定取得施設にも参考になる内容です。多数のご参加をお待ちしています。

2019年4月10日現在 正会員数 3,278名

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信
(第59回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物、リーフレット「寄生虫検査～糞便検査の手引き～」についてご紹介いたします。

寄生虫検査は、以前より検査室で行う機会が少なくなって来た検査であるが、時には検査することがあります。その時などにはこのリーフレットを参考にして頂きたいと思います。今回は原虫類の鑑別方法を添付しました。是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

IV. 鑑別方法

1. 原虫類の鑑別方法

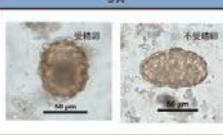
・大きさ、形態、内容などから鑑別する。

寄生虫名	写真	特徴
赤痢アメーバ		栄養型は20~40μmのアメーバ状で活発に運動し、しばしば赤血球の貪食がみられる。染色標本では核は1層で核内の中心に核小体が認められる。シストは12~15μmの円形状で核は1~4層を有し、顆粒状の染色性を認める。
大腸アメーバ		栄養型は20~50μmのアメーバ状で緩慢に運動し、赤血球の取り込みはない。染色標本では核は1層で核小体は大きく、中心を占める。シストは12~20μmの円形状で成熟期の核は8層である。
ランブル鞭毛虫		栄養型は長さ12~15μm、短径6~8μm、前方は円く後方は尖る。腹面の吸着円盤で粘膜上に吸着する。核は2層あり、中心に核小体がある。鞭毛により活発に運動する。シストは長さ8~12μm、短径6~8μm、成熟期の核は4層で8字の輪郭がみられる。
クリプトスポリジウム		直径約5μmの楕円形。オシスト型は薄く黄色で、表面は平滑。オシスト内にはC字型に弯曲した4個の鞭毛状イスポロゾイトが包蔵されている。オシスト型の一部に結合部が観察される。

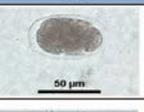
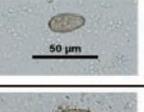
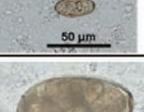
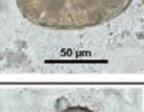
2. 蠕虫類の鑑別方法

1) 虫卵の鑑別方法

・大きさ、色、形、卵内容、卵蓋などから鑑別する。

寄生虫名	写真	特徴
回虫卵		虫卵は受精卵と未受精卵があり形状が異なる。受精卵は長さ60~70μm、短径40~50μm、黄褐色。楕円形で殻外層には金平輪状の蛋白層がある。未受精卵は長さ60~100μm、短径40~60μm、内容は淡黄状顆粒である。
蟯虫卵		長さ50~60μm、短径20~30μm、無色。卵殻はやや厚く、核の輪状である。
鞭虫卵		長さ40~50μm、短径22~23μm、黄褐色または赤褐色。薄い卵殻を有し、卵の前部と後部に平滑筋の層がある。

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

寄生虫卵名	写真	特徴
ズビニ絛虫卵		長さ50~60μm、短径40~45μm、無色。卵殻は薄く、新鮮度中では4~8分脈線がみられる。ズビニ絛虫とアメリカ力腫虫の虫卵はほぼ同じ形態をしている。
肝吸虫卵		長さ27~32μm、短径15~17μm、淡黄色。糖衣卵のなかでは最も小型のグループに属する。卵殻に卵管様の小突起があり、その基部部分が卵殻より突出している。尾端に小突起があり、卵壳層はミラシジウムである。福川吸虫、異形絛虫などの虫卵と鑑別する。
横川吸虫卵		長さ28~32μm、短径15~18μm、黄褐色。肝吸虫卵に似ているが、小蓋が肝吸虫のように卵管状ではなく、卵殻からほとんど突出していない。卵壳層はミラシジウムである。
ウエステルマン肺吸虫卵		長さ80~90μm、短径45~55μm、濃い褐色。卵殻に明確な小穴を有する。左右非対称で、小蓋のある側、すなわち前半に蓋大端があり、後半はやや尖るものが多い。また、小蓋のない1側の卵殻は著明に肥厚している。卵内容、1層の卵管層と蓋部の卵管層がある。
黒狗糸虫卵		卵殻に相当する殻膜とその内部のゼリー状の物質はとれやすく、糞便中では消失している。幼虫殻は放射状を示す。幼虫殻は長さ30~40μm、短径20~30μmで、この中に6本の筋を有する8動物虫が存在する。有刺糸虫卵とは鑑別できない。
日本海蛭頭糸虫卵		長さ60~70μm、短径40~50μm、淡褐色。前部に小蓋、尾端に小突起がある。卵内容は無発育で1層の卵管層と多数の卵管層がある。
東洋毛輝線虫卵		長さ75~95μm、短径40~45μm、無色。卵壳層に似るが、大きく、左右非対称。卵内容には新鮮便中の虫卵でもすでに16~32個位に分裂が進んでいる。

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization